

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次整備提案書



1 整備提案の概要

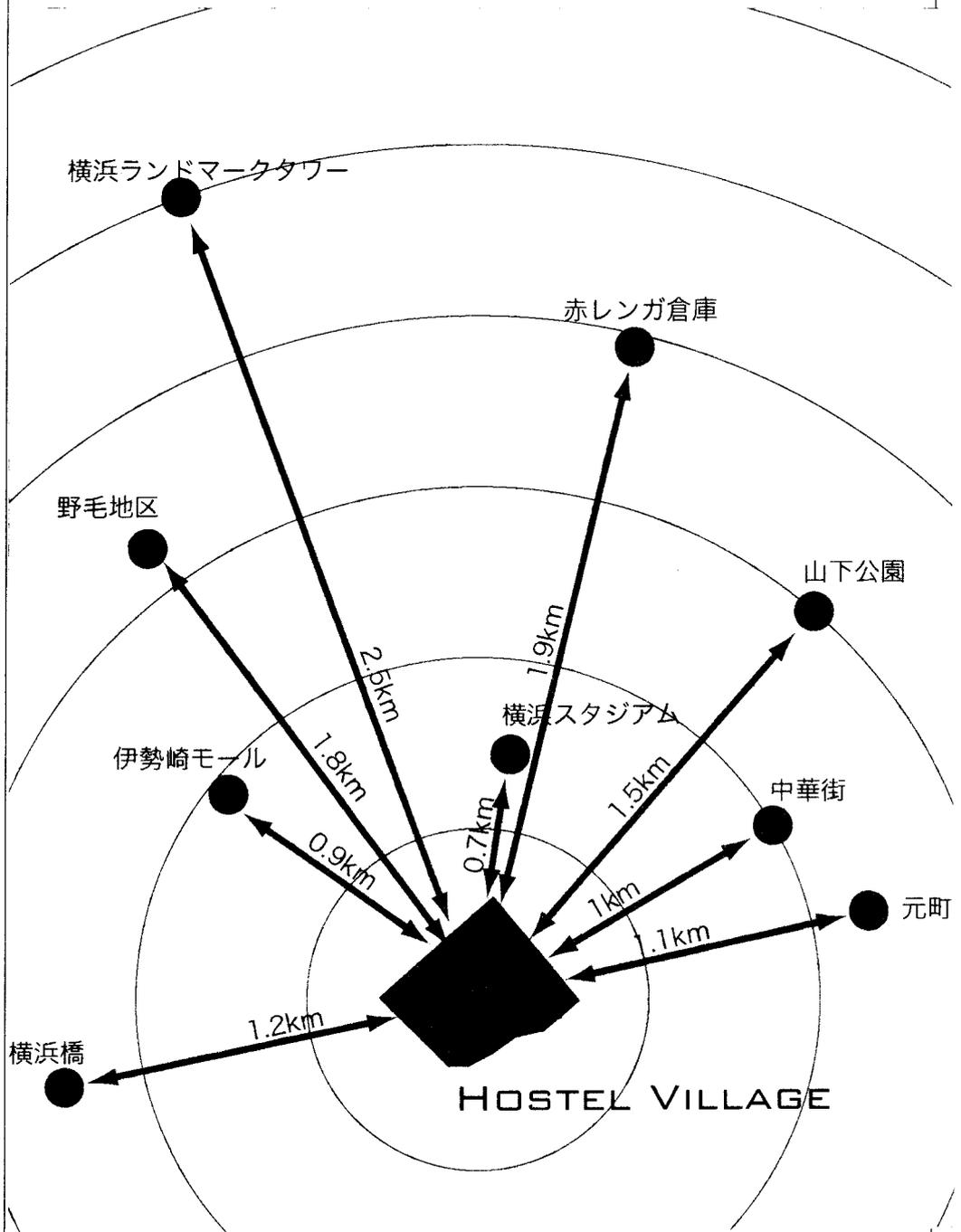
整備提案名	横浜寿町ホステルビレッジ街化事業
整備提案の概要 (なにをどのように整備するのか簡潔にお書き下さい)	<p>横浜市中区寿町の利用体系の転用を図ります。ホステルビレッジ街化を通じた町全体の治安と美化の向上にとりくみ、寿町の再生及び、イメージ改革を行っていきたいと考えています。</p> <p>具体的には、寿町を住人にもツーリストにも暮らしやすい街へと改善するために、公共スペースのゴミ置き場の整備、街灯の設置による治安の向上、廃車の処理、緑化、塗装の塗りなおしなどにとりくみます。</p> <p>このたびの助成ではベンチ、街灯、緑化にとりくみたいと存じます。</p>

整備箇所の概要

- ・ 住所
- ・ 面積(わかれば)
- ・ 周辺の地図があれば張り込んでください

注1)

住所：横浜市中区寿町・松影町・扇町



整備の動機や背景

横浜市中区寿町は日雇い労働者の町として整備され、高度成長期には大勢の日雇い労働者が出稼ぎにでかけましたが、近年の経済構造と景気の変化により、今日では日雇い仕事の激減と、人口の7割が高齢や障害により、福祉サービスを受ける一方の町へと変化しています。

一方では、2009年に羽田空港が国際線化する計画が背景にあります。横浜の観光地付近には安宿が存在しないなか、観光地からごく近距離に立地する寿町は、安宿の提供元として機能させることが可能です。寿町は、元来は簡易宿泊所街であり(全110軒・約7700室)、現在の稼働率は約7割(空き室約2000室)となっています。この空き室を利用して、顧客層を広げることを通じた町の再生を目指します。

地域ニーズや課題	<p>寿町はもとより現在横浜では、市をあげて外国人旅行者の増加を図る政策が進められています。旅行者の全体数が増加する分、ツアー旅行者からバックパッカーまで、様々な種類の旅行者が横浜を行き交うことが予測されます。よって、宿泊施設も各ランクのものが不可欠となることはほぼ確実であり、その中の安宿・ゲストハウスと呼ばれるランクについて、簡易宿泊所の集積地である寿町は、十分に対応しうるキャパシティを持ち得ています。</p> <p>しかし、現在の寿町は、海外にPRできるほど整備が行き届いているとは、到底いえない状況にあります。</p> <p>そこで、寿町を住人にもツーリストにも暮らしやすい街へと改善するために、街灯、ゴミ置き場、廃車の整備など、治安と美化の向上を課題とし、寿町の再生及び、イメージ改革を行っていきたいと考えています。</p>
----------	--

2 具体的な整備提案の内容

現況の様子を写真の張り込み等で示すとともに、具体的な整備提案の内容を文章やイメージスケッチ等でお書きください。

注1)

□街路の緑化 町の美化の一環として、公道にプランターや鉢を置くことによる緑化

~~□ゴミ置き場の設置~~

□街灯の設置 ~~ロイ街灯丁の設置~~

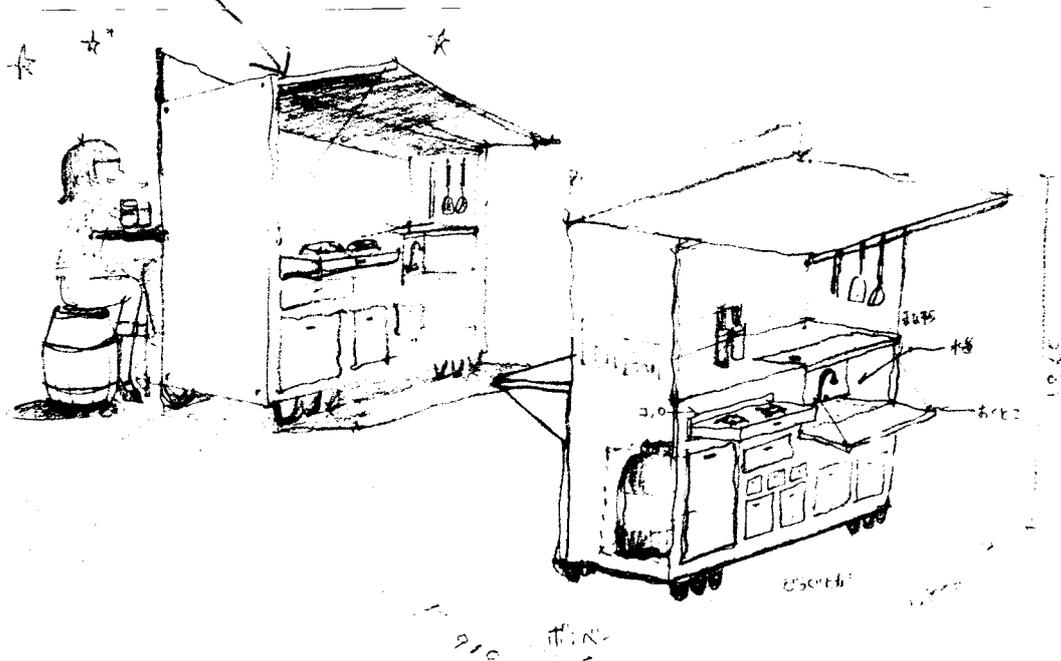
□ベンチの設置

~~これら全てを個別に行うのではなく、~~屋台のような可動物を母体として、そこへ付加させる形で作成していきたい。

1台100万円と見越し、2年で5台作成する。

屋台の設計、作成においては、神奈川大学大学院の学生と、ワークショップを重ねていく上で決定していく。

ソーラーパネル（昼間蓄積したエネルギーで夜間街灯になる）



概算整備費：当初500万円（参考）

3 整備提案の効果について

<p>整備されたものがどのような人たちに利用され、地域でどのように役立つと考えますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆生活保護を受けている人（高齢者、障害者） ◆ホームレス ◆ツーリスト（外国人、日本人） ●住人の生活の質の向上 ●町の美化 ●治安の向上
---	--

4 整備提案の実現性について

<p>整備箇所の地権者や建物所有者、地域組織（町内会・自治会等）への周知状況をお書き下さい。</p>	<p>各簡易宿泊所のオーナー（港館、第2港館、第3港館、石川会館、青葉会館、現在建築中のねむの木）、民生委員（1名）へ、随時進行状況の報告。</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">中土木事務所に整備案を説明</p>
<p>整備提案を実現するために既に提案グループが持っている資源（ヒト、モノ、カネ）は何ですか？</p> <p style="text-align: right;">注2)</p>	<p>ヒト：建築士、建物所有者、医者、学生、ソーシャルワーカー、ヘルパー、緑化専門家、設計士、民生委員</p> <p>モノ：簡易宿泊所（港館、第2港館、第3港館、石川会館、青葉会館。その他、来年3月完成予定のねむの木）</p>
<p>実現のために、もっと強化したいあるいは、新たに欲しい資源（ヒト、モノ、カネ）は何ですか？</p> <p style="text-align: right;">注3)</p>	<p>ヒト：公的な人々の理解</p> <p>モノ：加盟簡易宿泊所数の拡大</p> <p>カネ：ネットワーク構築のための準備資金</p>
<p>施設整備や維持管理について、提案グループや地域住民等がどのように関わろうと考えていますか？</p>	<p>施設整備に関し、緑化やベンチについては、町の住人の希望や大学生によるワークショップの成果をとり入れ、設計・作成していきます。維持管理に関しては、提案グループのメンバーにもなっている自治会や地域のNPOの協力を得ながら、地域住民による維持管理のしくみを作りたいと考えています。</p>

5 特にPRしたい点

<p>提案内容や実施体制等について、特にPRしたい点があればお書き下さい。</p>	<p>ヨコハマ市民まち普請事業の応募の手引きにおける「整備の例」ではなく、「整備提案ができる方」というところに焦点を絞り、審査員の方々にも十分理解していただけると判断し、応募しました。</p>
---	--

6 事業スケジュール

1次コンテスト以降、提案の実現に向けて、提案グループが取り組むことについて、事業完了までご記入ください。

取 り 組 み 内 容 (合意形成、第2次整備提案書づくりなど)	
7月	1次コンテスト 実行委員選定
8月	実行委員会開始 関係機関（市、町内会、自治会、簡易宿泊所組合、町内商店など）への説明と協力の依頼、整備に関する了承のとりつけ
9月	屋台サロンワークショップ 現地調査・設計・アウトプット 現地調査
10月	合意形成および第2次整備提案書作成 設計
11月	第2次整備提案書提出 アウトプットの作成
12月	2次コンテスト
2次コンテスト以降（設計期間、整備助成金交付申請時期、着手時期、工事期間、完了時期）	
2006年1-3月 2台作成 4-6月 再度ワークショップによる案の改良 7月~2007年3月 3台作成	

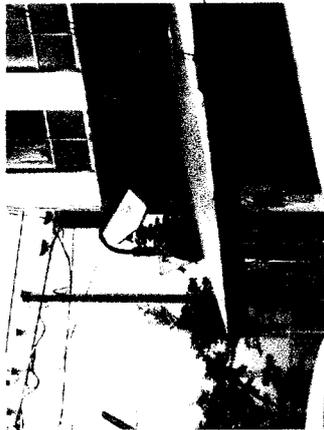
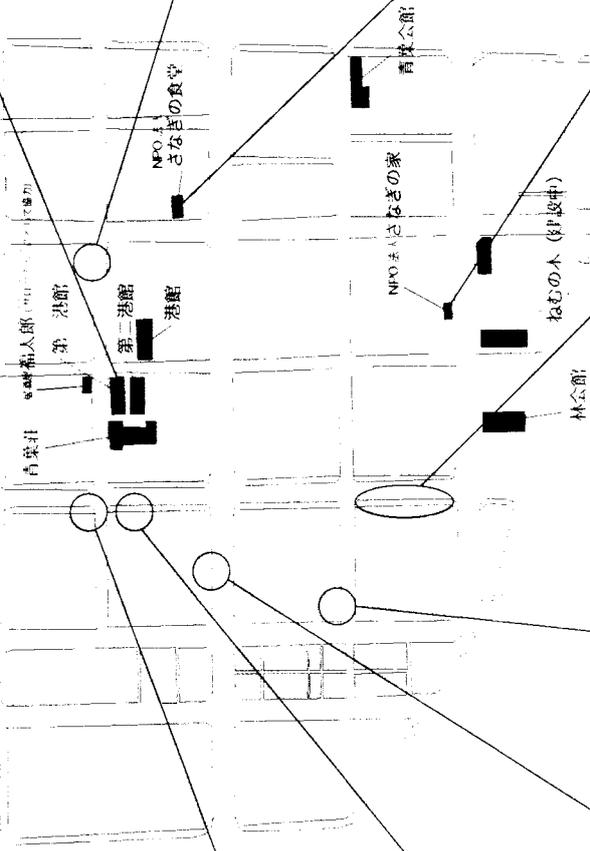
横浜寿町基礎データ (H15)

人口 : 6279 人
 男 : 6137 人
 女 : 142 人
 60 歳以上 : 3215 人 (51.2%)
 保護受給人員 : 4808 人 (76%)

複数世帯数
 簡易宿泊所
 室数

*ホステル提携宿泊所数は今後増加していく
 : 76 世帯 単身 97.5%
 : 110 件
 : 7733 室

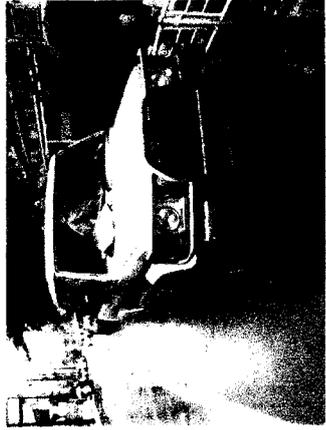
■ 提携スペース (宿泊所・サロン・食堂 etc)



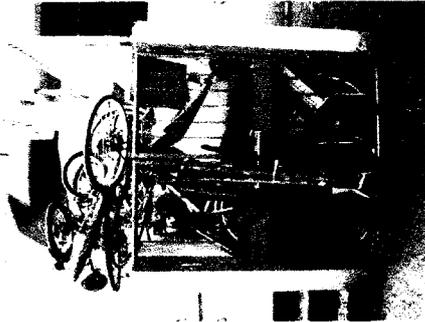
壊れた街灯



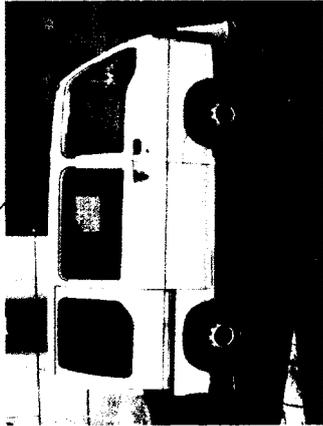
街外から捨てられる粗大ゴミ



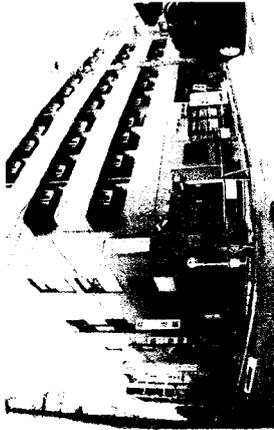
廃車



粗大ゴミ



廃車



参加宿泊所 港館



廃車



NPO 法人 さなぎの食堂



NPO 法人 さなぎの家

横浜寿町